

城ヶ島の海底で拾った使用済み「紙おむつ」!



城ヶ島の海底から引き上げられた使用済みの赤ちゃん用「紙おむつ」。16個も見つかった。ほとんどが海水浴などで使える防水吸水ポリマーがないタイプのもの。撮影:豊田直之

海水浴タイプの紙おむつ「スイムパンツ」が大量に見つかった

7月18日海の記念日。当NPOは、城ヶ島ダイビングセンターと共催で、ダイバーによる海底清掃を行いました。場所は、城ヶ島北西部にある「梶の浜」。参加ダイバーは20名。各ダイバーが網袋を持って海に潜り、海底のゴミを拾いました。周辺の陸上のゴミも拾い、この日集めたゴミの総重量は58.52kg。

城ヶ島の海底のゴミの特徴は、釣り場と隣接しているために「釣り具」が多いことです。投げ釣り用のオモリやテンビン、ルアー、

餌木(えぎ:アオリイカを釣る疑似餌)なども数多く引き上げられました。

また、ドリンク剤の空瓶も多く引き上げられました。これは釣り人が夜釣りなどで飲み、そのまま投棄したもののようです。

そして、引き上げゴミを分別するうちに、不思議なゴミがあることに気がつきました。なんと、使用済みの赤ちゃん用の「紙おむつ」です。捨てられてからかなり時間が経過しているようで、当然中身の「排泄物」は流出していましたが、おむつを構成するプラスチック素材は、そのまま残っていました。おそらく、赤ちゃん連れで海水浴に来て、防水タイプの紙おむつを使用。履かせてきた物、

使い終わった物を持ち帰らず、そのまま海に投棄したものでしょう。海はゴミ捨て場ではありません。保護者のモラル低下には、落胆させられます。製品の注意書きには「屋外で使用したとき、専用の捨て場所がない限り必ず持ち帰るよう」とありますが、メーカー側にも注意を促し、利用者には使用後の廃棄方法を徹底していただく必要があります。

この日引き上げたゴミ

ブラゴミ	6.6kg
紙ゴミ	0.7kg
空き缶	0.46kg
ペットボトル	2.4kg
タバコの吸い殻	50本
ガラス・ピン	2.36kg
計	12.52kg

ブラゴミ	10.6kg
燃やすゴミ(紙おむつ含む)	20.12kg
空き缶	3.44kg
ペットボトル	3.6kg
ガラス・ピン	8.24kg
計	46kg

総重量	58.52kg
-----	---------



この日20名のダイバーが海底清掃に参加。今後は実施回数を増やしていく予定。撮影:豊田直之

Close-up Supporter

クローズアップサポーター



勝烈庵グループ代表 本多 初穂さん

大岡川は私たちに、とても身近でとても大切な存在です。春に両岸から垂れ下がるように咲く満開の桜を見ると心が躍ります。これからは大岡川ニュースを通じて私たちが出来ることをお手伝いできればな、と思っています。

おめでどう……子育てして働ながら……国家試験を受けるなんて立派だ、本当に……よくやった。なあ、そっちにいた頃のわたしを許してくれるか……わたしは、ただ、お前を守りたかったのだ。結婚の邪魔にならない程度の学校を出て、い

と、お前の望む人生があるのだろうと分かってはいた。だが、お前には、そのための苦勞をさせたくないし

お前ですか……いつてらっしゃい……またのお越しをお待ち申し上げておきます。

おめでどう……合格通知、早速見せてさしあげましょう、おじいさまに……さあ、こちらへ。



カサゴ(祖父のコウザク)

思っていたのだよ。わたしのお前への愛情……そう呼んでくれるか……でも、わたしは、間違っていた……すまなかった。海にいて「地球は回っているのだ」ということを感じる。ずっと同じことばかりではなく、地球に合わせる、あるがままに生きる方がいい。こんな簡単なこと、お前といた時に分かっていたら、大喧嘩することも意地を張り合うこともなかったのになあ……だから、今、時々会いに来てくれることが、何より嬉しいよ。だけどお前、その男のような口のききかただけは、なんとかならないのか……地球は回っているって……ハハハ、そうだったな、でも、イヤなものイヤだ、ハハハハハ。

不思議屋水族館

水源地の山を下り麓の街を蛇行しながら流れる古い川の河口近く、港を臨む場所に、そのカフェバーはあ。店の巨大な水槽をへだてて、時に客は、人生を終えて海に還り海に生きる者たちと、会えることができる。看板もない、ひっそりとしたこの店のことを、いつしか人は「不思議屋水族館」と呼ぶようになった。

い男と一緒にいって、家庭に入り子供を産み育てる。そういう人生を歩んで欲しかったのだ。お前にはき

新聞サポーター&スポンサー募集

『Oh!Okagawa News(年4回、各回3,000部発行)』では、新聞サポーター(¥500×4号=¥2,000の寄付)を募集しています。サポーターの皆様には、氏名を掲載させていただき『Oh!Okagawa News』を1年間毎月1部郵送いたします。また、広告スポンサーも募集中です。『NPO法人 海の森・山の森事務局』info@uminomori-yamanomori.comまでお問い合わせください。

「よこはま夢ファンド」はじまりました!使えます!

寄付金から¥2,000を除く全額が控除になる「ふるさと納税」と同じ制度。寄付される際、「希望する団体」に当NPOの名前、「活動分野」に環境、と指定ください。寄付金は、横浜市経由で期待のNPO活動に助成されます。お問い合わせ先:当NPO、または、横浜市市民局市民活動支援課(045-227-7565) 検索先:「よこはま夢ファンド」

マイクロプラスチックが今ヤバイ! No.1

プラスチックとは、熱や圧力によって自由に成形できる合成樹脂のこと。軽量で、様々な形にできる素材なので、私たちの身の回りにはプラスチック製品があふれています。この素材の欠点は、紫外線により劣化が起きること。例えば洗濯バサミなどは、屋外で2年ほど使ると、組成がくずれ、つまんだ瞬間に砕けてしまいます。これが素材の劣化です。

を食べる魚が食べてしまいます。食物連鎖により、大型魚、海鳥などが捕食し、体内に蓄積します。溜め込むだけなら救いもありますが、マイクロプラスチックは、海洋に分散しているPCBなどの有害物質を吸着する性質を持ち、海を漂ううちに有害物質の固まりと化していくのです。

(今回は、さらに細かなプラスチック、マイクロビーズについてのお話です。)

海岸に漂着したプラスチックゴミは、毎日のように直射日光を浴びて劣化していきます。もろくなったプラスチックゴミは、波などで砕かれ、細かい粒子になっていくのです。特に、5ミリ以下の細かい粒子を「マイクロプラスチック」と呼びます。



屋外で使用する洗濯バサミは紫外線によって劣化し、ぼろぼろに砕けていく。撮影:豊田直之

60年前の活版印刷機で印刷した金魚のコースター。VILLAGE/VANGUARD オンラインストアでも取り扱い中!

新たな横浜の歴史と文化を印刷しています。

お買い求めはこちら!

コースター 3枚セット ¥500(税別)

株式会社 大川印刷

〒220-0011 横浜市西区高島 2-14-12 ヨコハマジャスト2号館3F
TEL: 045-441-2011 (代) FAX: 045-441-2014
HP: http://www.ohkawa-inc.jp/ E-mail: magokoro@ohkawa-inc.co.jp

大川印刷 facebook ページ

患者様お一人お一人に合わせたストレスのない診療を心がけています。

産婦人科 不妊専門

完全予約制

馬車道レディースクリニック

神奈川県横浜市市中区相生町4-65-3 馬車道メディカルスクエア5F
TEL 045-228-1680 FAX 045-228-1681 http://www.bashamichi-lc.com/
JR・市営地下鉄線 関内駅より徒歩2~5分 みなとみらい線 馬車道駅より徒歩2分